

# 手塚治虫作品集その17 『ザ・クレーター』 1・2

此の作品は、奇怪な短編物語の作品数編を集成する形態で展開する。ここには、多くのこの世に実在した現代人の名前が実名で登場する。むろん、作者「手塚治虫」も然りであり、彼自身は、そっくりそのまま作品中に描き出されていく。

「三人の侵略者」〔1 132頁〕



「三人の侵略者」〔1 151頁〕



「巴の面」〔1 271頁〕



「生けにえ」〔2 168頁〕

〔2 175頁〕  
〔2 180頁〕



「三人の侵略者」に、「貝塚ひろし。川崎のぼる。ちばてつや。赤塚不二夫。荘司としお。ジョージ秋山。水木しげる。白土三平。石森章太郎。永井豪。さいとう・たかを。旭丘光志。藤子不二夫。つのだじろう。永島慎二。石井いさみ」といった漫画家の名が153頁中に登場する。出版社も「秋田書店」雑誌名「チャンピオン。冒険王。まんが王」と連ねる。

異国人の名前としては、ギリシアの大富豪の夫人「ジャクリーヌ・オナシス」Ⅱ「ってあのケネディの奥さんだったけど大金持ちと結婚した女の人だろ?」〔172頁〕「フランク・モリソン!世界チャンピオンだ。今度のぼくの相手だっ」

ここに登場する人物名のなかで、當世の漫画家の名前は記録として遣り受け継がれる結果となることは云うまでもない。

その一人、小松左京について手塚が彼をどのように評価してきたのかを知る意味で重要な人物としてこの作品を通して切り出してみることにしよう。

小松左京は、学生出身の漫画家として京都から突如デビューする。赤本時代の漫画家として知る人ぞ知る存在である。そのSF大ロマンの作品を大阪にいた手塚も風聞する。且つ彼の作品を通して己の不足する世界を見据えさせられることにもなる。だが、当の小松左京はすごいものである。漫画家の道を歩むことはせずに、小説の世界にさっさと羽ばたいていってしまうからだ。彼の代表作『日本沈没』はやがて映画化され空前のヒット作として世に迎えられていった。

いわば、歩み始めた道の原点は同じでも進み行く先を異にする関西出身で東京に上京した二人の世界がここには見え隠れする。「ライバル」というキーワードをもってこの短編集を見ると、「雪野郎」に登場する奥野隆おくのりゆうと佐々木の冬のスキー競技者として展開する友情、「風穴」のレーサーぼくと酒井一夫などがそれぞれである。

この『ザ・クレーター』という作品に描こうとしたことは、いったいどのようなことであつたのだろうか？と考えてみると、

「この宇宙にはね。おまえの知らない無限の世界がある。みんなすこしずつちがった世界だよ」「たとえばある世界では、まったくこことおんなじでただあの鉄橋がない。だから電車も走っていない世界もあるのさ」「だから、その別の世界にあんたの心をチェンジすればよいのだよ。」「29頁」

という一言が響きつづけているようだ。

## SF作品が感得できることば表現

SF作品が感得できることば表現には、

「メガネ」（心の中をのぞく）「二つのドラマ」15頁

「メガネ」（未来がしまった袋を見通す）「オクチンの大いなる怪盗」168頁

「次元移動機」「オクチンの大いなる怪盗」187頁

「時のパイプ」土管の中を潜って、川の流れを泳ぐと前の時間や日に移動「1」「大あたりの季節」238頁

「エザムルム」（情報読み取り機器）「紫のベムたち」214頁

「ニンフ」（水辺にすむ妖精）「ブルネンの謎」213頁

## 固有名詞の逆転換表現

（パロディな言語表現）

①地名「軽井沢」を「重井沢」。（113頁）

②「な　な　な　なんだってっ」「ちくしよー」「スツカン、カラカン、テンカン、ドラカン」「ダボ・ハ・ゼ」「生けにえ」217頁

## 自然生態系の学習

①モズ【百舌鳥】モズは、カエルや虫をとってきては、木の枝にさしておきそのまま忘れてしまう性質がある。これをもズのにえという。これはほんとうの意味の生けにえではない。生けにえとは、ふつうだれかが生きたまま犠牲になって神または妖怪にささげられることである。「生けにえ」218頁

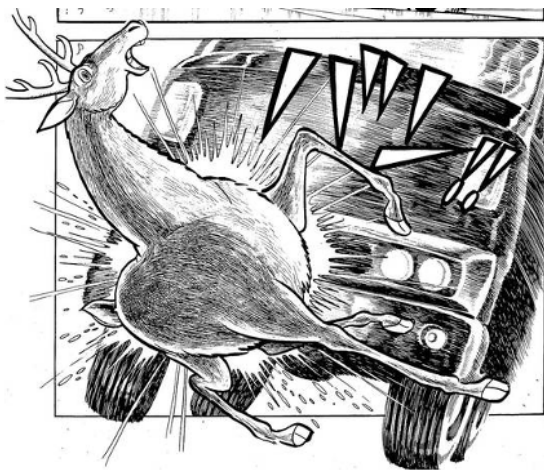


夏季講座で取り上げた「博物学」画像による生態系学習の場面である。百舌鳥の生け贄について、できる限り具体性を持たせて記述してみよう。

①エゾシカ【蝦夷鹿】

「国が保護してまさら」

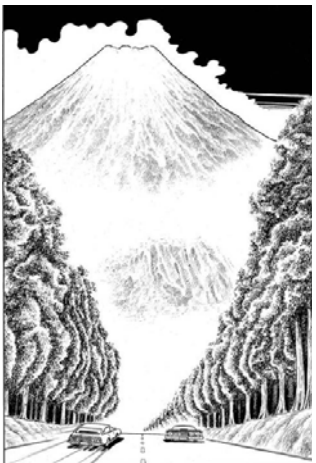
「あいにくとこの道路がエゾシカの通り道と交差してできちまったでね……」「あいつらコースをかえりやいいのにあいかわらずここを横切るもんだからよく車にはねられるでさア」「そう……もう十頭も死にましたかね……ついこないだもトラックに」「そうですね。あいつア、このあたりのボスだったって話ですよ。トラックがきてもゆうゆうと歩いてやがって……」〔167頁〕



②木の宇津保



① パノラマ光景 「富士山」  
〔「風穴」 1109頁〕



② 「ブルネンの謎」 2100頁〕



この富士のパノラマ画像を見て、それぞれの地理的方位と季節などあなたが気づいたことがらを見極めてみよう。具体的に書き出してみよう。